

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	MS102	分類	講義科目
授業科目名	ホスピタリティツーリズム	英文授業科目名	Hospitality Tourism
年度	2024年度	年次	昼間部 1年 ホテル科、ホテルSNS科
開講学期	通年	授業の方法	講義科目
単位数	2単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	白井 隆久	実務経験あり	備考
経歴	1986年3月 慶應義塾大学 経済学部卒業 1986年4月 ㈱JTB 入社 2021年3月 JTB退職 2021年4月 日本ホテルスクール非常勤講師 2023年4月 シェラトン都ホテル東京 セールス部入社		

■授業・科目情報

学習目標	目的: ツーリズムの基本知識を身につけ、ホテルのみならず観光業でも活躍できる。 目標: ①2000年以降国が力を入れ始めている訪日外国人誘致促進の背景、歴史、取組について発信できる。 ②インバウンドに人気となっている日本の魅力を様々な観点を把握し、国内外のお客様に説明できるようになる。 ③様々なツーリズムの内容について説明できる。 ④各国のインバウンドの特性を把握し、それぞれの国に応じた対応ができる。		
教科書	プリントの配布		
授業計画	回数	内容	
	1	オリエンテーション1年間で学ぶこと 観光とは、ホスピタリティツーリズムを学ぶ目的について	
	2	データでとらえる、世界の観光状況、日本の観光状況	
	3	各国の訪日旅行の特徴について	
	4	日本の観光地 世界遺産・日本遺産、国立公園、温泉等について-1	
	5	日本の観光地 世界遺産・日本遺産、国立公園、温泉等について-2	
	6	インバウンド特性について-1	
	7	インバウンド特性について-2	
	8	ニューツーリズムについて-1	
	9	ニューツーリズムについて-2	
	10	SDGsと宿泊施設が取り組むべきこと-1	
	11	SDGsと宿泊施設が取り組むべきこと-2	
	12	まとめ/試験	
	13	LGBTと国際観光	
	14	日本のインバウンド誘致の取組-1	
	15	日本のインバウンド誘致の取組-2	
	16	観光立国の実現に向けた取り組み、「明日の日本を支える観光ビジョン」-1	
	17	観光立国の実現に向けた取り組み、「明日の日本を支える観光ビジョン」-2	
	18	観光庁、JNTOの取組-1	
	19	観光庁、JNTOの取組-2	
	20	MICEについて-1	
	21	MICEについて-2	
	22	OTAについて-1	
	23	OTAについて-2	
	24	まとめ/試験	
授業の進め方	観光庁、JNTO、大手旅行会社、宿泊施設等、ツーリズムに関連する組織のデータや取組事項をオリジナルテキストに織り込んで解説します。単なる知識の習得に留まらず、自らが考える習慣を身につけること、コミュニケーション能力を高めることを目的に、適宜グループワーク方式を取り入れます。		
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	国際情勢、異文化コミュニケーション		
参考HP	観光庁、JNTO、トラベルボイス、訪日ラボ		
学生へのメッセージ	ツーリズム産業は21世紀のリーディング産業と言われています。この業界で活躍できる人材になり、ツーリズム産業を盛り上げていただくを期待しております。		

以上